

びわこ学院大学／びわこ学院大学短期大学部 ユーカレッジ(地域出前授業) 科目一覧

A／教育(全般)
F／情報技術・科学

B／スポーツ
G／健康・ライフスタイル

C／人権・福祉
H／環境・防災

D／芸術・音楽
I／その他

E／文化・歴史

| NO | 分野 | タイトル | 講師役職 | 講師氏名 |
|----|-------|---|------|-----------|
| 1 | A | 子どもたちの命を守るために (事故予防と緊急時の対応(熱中症、食物アレルギー、心停止)) | 教授 | 岩崎 信子 |
| 2 | A | 親子運動遊び (子どものからだどころへつなげる遊び) | 教授 | 奥田 愛子 |
| 3 | A | 子どものメンタルケア | 教授 | 奥田 愛子 |
| 4 | A | これからの共生社会をめざしたよりよい生き方について | 教授 | 小西 喜朗 |
| 5 | A | 幼児がことばを話せるようになるとは? | 講師 | 後藤 真吾 |
| 6 | A | 幼児期のからだを使ったあそびの大切さ | 講師 | 後藤 真吾 |
| 7 | A | 子どもの大好きなおもちゃを作っちゃおう! | 講師 | 杉本 栄子 |
| 8 | A | 世界にたった一つの私の絵手紙を描きましょう! | 講師 | 杉本 栄子 |
| 9 | A | 親子で考えよう! スマホ時代のコミュニケーション | 教授 | 内藤 紀代子 |
| 10 | A | 幼児期に育てたいこと (~豊かな感性・共に生きる喜び~) | 教授 | 中井 清津子 |
| 11 | A | 対人関係を学ぶ (エンカウンターで自己や他者の理解を広げよう!) | 教授 | 南 雅則 |
| 12 | A | 事例検討をみんなで楽しく! (PCAGIP法を使った事例検討の体験) | 教授 | 南 雅則 |
| 13 | A | 古代の大学は滋賀県に置かれていた (渡来人と教育・学問について) | 教授 | 光川 康雄 |
| 14 | A | 映画で考える子ども学・教育学 | 准教授 | 渡辺 雅幸 |
| 15 | A C | 利用者支援事業とは何か (ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて) | 講師 | 榎本 祐子 |
| 16 | A C | 乳幼児の親(保護者)との援助関係の築き方 (「やってあげたい援助」ではなく「求められる援助」ができるようになるために) | 講師 | 榎本 祐子 |
| 17 | A D G | 乳幼児のための音楽遊び | 講師 | 竹下 則子 |
| 18 | A D G | みんなで歌おう! 心のうた | 講師 | 竹下 則子 |
| 19 | A E | 五個荘発、寺子屋と往来物のおもしろさ (東近江市近江商人博物館所蔵、時習斎蔵書を手がかりに) | 准教授 | 和田 充弘 |
| 20 | A E | 五個荘発、寺子屋と往来物のおどろき (東近江市近江商人博物館所蔵、時習斎蔵書を手がかりに) | 准教授 | 和田 充弘 |
| 21 | A F | 小学校理科にすべての答えはある | 教授 | 箱家 勝規 |
| 22 | A F | 発想の転換と科学実験 | 教授 | 箱家 勝規 |
| 23 | A G | 心理学を用いた対人援助について (行動分析学、心理学などに"こころ"なんてない) | 助教 | 伊藤 雅隆 |
| 24 | B | みんなでバスケットボール (元プロバスケット選手がバスケットを指導する) | 助教 | 小野寺 恵介 |
| 25 | B | 運動による科学的な健康づくり (運動生理学の視点からデータを読み解く) | 講師 | 高木 俊 |
| 26 | B | ウエイトコントロールの科学 | 講師 | 高木 俊 |
| 27 | B | 地域とスポーツ (スポーツを通じた地域のコミュニケーションの拠点) | 講師 | 原田 ひとみ |
| 28 | B | 初心者を対象にした空手教室 | 准教授 | 深田 直宏 |
| 29 | B | 運動が苦手な小学生の運動教室 | 准教授 | 深田 直宏 |
| 30 | B | スポーツ・パフォーマンスの向上に役立つストレッチ | 教授 | 吉見 譲 |
| 31 | B | なぜスポーツ・運動が子どもの成長に欠かせないのか (~スポーツ科学の知見から~) | 教授 | 吉見 譲 |
| 32 | B G | スポーツ選手に学ぶ「こころの整え方」(ストレスマネジメントの方法) | 講師 | 竹内 早耶香 |
| 33 | B G | スポーツ選手に学ぶ「こころの整え方」(実力発揮の方法) | 講師 | 竹内 早耶香 |
| 34 | B H | 防災とスポーツ | 講師 | 原田 ひとみ |
| 35 | C | コミュニケーションゲームを通じて対人援助のセンスを学ぶ | 教授 | 片山 弘紀 |
| 36 | C | 知的障害や発達障害のある人への読書支援 | 教授 | 藤澤 和子 |
| 37 | C | わかりやすい情報提供 (リライトや読み聞かせの実習を通して) | 教授 | 藤澤 和子 |
| 38 | C | 障害者の人権について考える | 准教授 | 山 和美 |
| 39 | C | 介護福祉士の専門性について (介護福祉職のコミュニケーションとは) | 講師 | 山ノ井 勉 |
| 40 | C | 介護過程におけるアセスメント (介護過程の基本的な考え方やアセスメントのポイントについて) | 講師 | 山ノ井 勉 |
| 41 | C | 介護技術の基礎 (負担の少ない移乗・移動方法) | 講師 | 吉原 真紀 |
| 42 | C | 介護技術の基礎 (ベッド上でのシーツ交換・寝衣交換) | 講師 | 吉原 真紀 |
| 43 | D | スタンスを取って、歌いましょう。(歌う呼吸の方法を学びましょう) | 講師 | 内山 育子 |
| 44 | D | ~ここにしか咲かない花~ (水彩絵の具や色紙を使って不思議な花を咲かせましょう) | 講師 | 和田 健一 |
| 45 | D | <紙工作> 楽しい螺旋(らせん)ロード | 講師 | 和田 健一 |
| 46 | E | 和歌でつながる (一本居宣長を事例として) | 教授 | 榎本 恵理 |
| 47 | E | 日本の都城の歴史 (近江大津宮と紫香楽宮の再評価) | 教授 | 丸山 俊明 |
| 48 | E H | 近江の街道宿場と町家の特徴 (京町家を上回る防火性能の形成) | 教授 | 丸山 俊明 |
| 49 | F | 簡単なお知らせ文をパソコンで作ろう! | 教授 | 長嶺 共全 |
| 50 | G | 自身のこころのケアを考える (臨床心理学を体験しよう) | 助教 | 伊藤 雅隆 |
| 51 | G | 簡単ストレッチと自体重のトレーニング (運動不足解消でストレス解消!) | 助教 | 小野寺 恵介 |
| 52 | G | 女性の健康と骨盤底筋力 (骨盤底筋ケアで骨盤内臓器下垂や尿失禁予防!) | 教授 | 内藤 紀代子 |
| 53 | G | 親子で考えよう多様な性の理解 (包括性教育) | 教授 | 内藤 紀代子 |
| 54 | G | 高齢者に多い病気とその対策 (まだまだこれから!) | 教授 | 新屋 久幸 |
| 55 | G | メンタル不調への対応 (こころの病気への気づきと対応) | 教授 | 新屋 久幸 |
| 56 | H | 地域における自然災害への取り組み (いまの備えは、それで十分ですか?) | 教授 | 鳥野 猛 |
| 57 | I | 国際比較から考える教育政策 (~初等中等教育を中心とした近年の動向~) | 准教授 | 白銀 研五 |
| 58 | I | クレームや苦情への対応 (カスタマー・ハラスメントを含め) | 教授 | 鳥野 猛 |
| 59 | I | 絵本の世界を楽しもう (絵本から見える子どもの世界) | 講師 | 川副 知佐 |
| 60 | I | 絵本から読み解く異文化理解 | 准教授 | 白銀 研五 |
| 61 | I | グローバル化の中の異文化理解 | 教授 | 逢 軍(ベトナム) |
| 62 | I | 近江鉄道の活用による地域活性化 | 教授 | 逢 軍(ベトナム) |
| 63 | I | 近江における「聖徳太子」信仰 (『聖徳太子伝暦』を中心に) | 教授 | 光川 康雄 |
| 64 | I | 教職入門の入門 | 准教授 | 渡辺 雅幸 |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|------|------|--|----|-----|--------------|-------------|
| No.1 | タイトル | 子どもたちの命を守るために 事故予防と緊急時の対応(熱中症、食物アレルギー、心停止) | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 10人程度 | × |
| | 授業内容 | 事故予防について理解し、応急手当について実際に体験してみましょう。 * 応急手当の体験は、学生が補助します。 | | | | |
| | 備考 | DVD又はYouTubeが見られるとよい。体験ができるような場所。 | | | | |
| No.2 | タイトル | 親子運動遊び 子どものからだところへ“つながる遊び” | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 40人 (20組) | × |
| | 授業内容 | スキンシップをとる親子運動遊びの実施。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:ピンマイク・スピーカー・示範用人形(1) 親子で参加すること。遊戯室を使用する。 | | | | |
| No.3 | タイトル | 子どものメンタルケア | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 40人 | ○ |
| | 授業内容 | アスリートが振り返る幼児期・児童期の特徴的な歩みの紹介と解説を通して、こころの発達につながる身体活動について考える。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:マイク・スクリーン(白布・白紙も可) PCとプロジェクターは持参します。 | | | | |
| No.4 | タイトル | これからの共生社会をめざしたよりよい生き方について | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | その他 | 35人 | ○ |
| | 授業内容 | 自分を振り返りみつめなおすことから相手のことを理解するヒントについてかんがえる。 共に生きていくための「平等と公正」について考えるキッカケを示したい。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品:ワークシート配布。(必要数こちらで準備します。) | | | | |
| No.5 | タイトル | 幼児がことばを話せるようになるとは? | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | ことばの育つ筋道をたどり、ことばが話せることの意味を考える。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

2022年度 びわ学ユークレジット(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-------------|----------|-------------|
| No.6 | タイトル | 幼児期のからだを使ったあそびの大切さ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | からだを使ったあそびが認知や社会性を育む基礎になることを考える。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.7 | タイトル | 子どもの大好きなおもちゃを作しましょう！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 動物折り紙・紙皿を使って、皿回しと昔話制作・ストローを使ってトンボ制作・良く飛ぶ紙飛行機制作等、完成後は子どもの気持ちになって楽しく遊ばしましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:全てこちらで用意します。 使用備品:黒板 造形室が有難いです。 | | | | |
| No.8 | タイトル | 世界にたった一つの私の絵手紙を描きましょう！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | “絵手紙三つの心得”を学んだあと、和紙の葉書に、野菜や花、来年の干支等描きます。ゆったりとした時間の中で、筆の使い方から一緒に学び楽しいひと時を過ごしましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:全てこちらで用意します。 使用備品:黒板 造形室が有難いです。 | | | | |
| No.9 | タイトル | 親子で考えよう！スマホ時代のコミュニケーション ネット・SNSの賢い使い方やペアレンタルコントロールについて | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型・ 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | デジタルネイティブ世代と親世代のネット・SNSの理解やコミュニケーションの相違について説明し、ペアレンタルコントロールの必要を考える。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC 使用備品:スクリーン | | | | |
| No.10 | タイトル | 幼児期に育てたいこと ～豊かな感性・共に生きる喜び～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型・ 講義型 | 20人 | ○ |
| | 授業内容 | 幼児期の発達と子育てのポイントを講義する。 絵本を読んだり、遊びを紹介したりしながら子育ての楽しさを伝える。 親の立場に立って子育てを考えながら、相談に応じる。 | | | | |
| | 備考 | 絵本等必要なものは相手と相談して決める。動きができる部屋があれば希望する。 | | | | |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.11 | タイトル | 対人関係を学ぶ エンカウンターで自己や他者の理解を広げよう！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 4人以上 | × |
| | 授業内容 | 構成的グループエンカウンターのエクササイズをとおして人間関係作りの具体的なスキルを学びます。 | | | | |
| | 備考 | 広めの会場をお願いします。 | | | | |
| No.12 | タイトル | 事例検討をみんなで楽しく！ PCAGIP法を使った事例検討の体験 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 体験型 | 8人程度 | × |
| | 授業内容 | 教育現場でよく行われる事例検討を、提案者だけでなく参加者を含めた全員が主体者となって取り組みます。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品：ホワイトボード又は黒板 教育関係者の方を対象にしています。 | | | | |
| No.13 | タイトル | 古代の大学は滋賀県に置かれていた 渡来人と教育・学問について | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 天智天皇の時、百済から亡命してきた鬼室集斯(きしつしゅうし)を「学職頭(がくしよくつかさ)」として、近江大津宮(大津京)に「庠序(しょうじょ)」を置いたことが『懐風藻』(751年成立)の序文に記されています。さらに中世の大学は比叡山延暦寺です。滋賀県の学校について考えてみませんか。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.14 | タイトル | 映画で考える子ども学・教育学 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | A | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 映画に描かれる子どもの姿を通じて、子どもとは何か、教育とは何かについてみなさんと一緒に考えます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.15 | タイトル | 利用者支援事業とは何か ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AC | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 本授業では、地域子ども・子育て支援事業の1つである「利用者支援事業」とは何か、どのようなサービスを目指した事業なのかについて解説します。子育て家庭を対象とした「相談」は利用者支援事業以外にもさまざまなものがあります。そのような中、「なぜ利用者支援事業が必要なのか」、「他の専門職による「相談」とは何が違うのか」、「どうこの事業を展開していくべきなのか」について、ソーシャルワークの理論的枠組みを用いて解説します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|-----|-----|----------|-------------|
| No.16 | タイトル | 乳幼児の親(保護者)との援助関係の築き方 「やってあげたい援助」ではなく「求められる援助」ができるようになるために | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AC | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 本授業では、乳幼児の親(保護者)が本当に求めているような支援ができるようになるために、援助関係の築き方について学びます。 具体的には、ソーシャルワークの援助関係構築の基本であるバイスティックの7原則について学びます。また、子育ての方法や考え方は時代によって大きく変化しています。今時の親が求めていること、今時の親を支援するときに気を付けてほしいポイントについても解説します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.17 | タイトル | 乳幼児のための音楽遊び | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | ADG | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | リズム遊びや手遊び、音楽遊びなど親子で音楽を楽しみましょう。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.18 | タイトル | みんなで歌おう！心のうた | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | ADG | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 音楽には心を癒し潤す力があります。呼吸法、発声法から学ぶことができます。 皆さんからのリクエストに応じてピアノ伴奏にあわせて合唱します。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.19 | タイトル | 五個荘発、寺子屋と往来物のおもしろさ 東近江市近江商人博物館所蔵、時習齋蔵書を手がかりに | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AE | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 江戸時代の寺子屋と、そこで用いられた初級テキストの往来物について、五個荘地域の寺子屋資料を事例にしなが、基礎的な知識を提供します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材：パワーポイントの投影関連機材 東近江市近江商人博物館との連携、本学と同館との共催展示と関連づけ | | | | |
| No.20 | タイトル | 五個荘発、寺子屋と往来物のおどろき 東近江市近江商人博物館所蔵、時習齋蔵書を手がかりに | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | AE | 講義型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 寺子屋で往来物をどのように用いたのか、五個荘地域の寺子屋資料を事例にしなが、教育史研究の最先端を説明します。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材：パワーポイントの投影関連機材 東近江市近江商人博物館との連携、本学と同館との共催展示と関連づけ | | | | |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|---------|------|---------|
| No.21 | タイトル | 小学校理科にすべての答えはある | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | AF | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 難しいと思われる理科の問題は、すべて小学校の理科の時間に学んだこととつながっています。小学校では、自然、事物の本質を学習しているからです。本質を学ぶ小学校のたのしい理科の授業について、実験を通してみなさんに体験してもらいます。 | | | | |
| | 備考 | 実験材料は持参します。 | | | | |
| No.22 | タイトル | 発想の転換と科学実験 | 分野 | 形式 | 人数 | プロジェクター |
| | | | AF | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 私たちは様々なことで日々悩まされています。自分では気づかない先入観や固定観念が自分の考えを制限しているからです。そんな自分に気づくために、ちょっとした科学実験やクイズをして発想の転換をする練習をしてみます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.23 | タイトル | 心理学を用いた対人援助について 行動分析学、心理学なのに”こころ”なんてない | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | AG | 体験型・講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 対人援助の場面を検討の題材として、心理学として教えられているものの中でも、行動分析学というものについて触れてもらいます。教育、医療、福祉の分野など様々な分野で用いることのできる内容について触れる。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.24 | タイトル | みんなでバスケットボール 元プロバスケ選手がバスケを指導する | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 指導者がいない、どんな練習をしたら良いかわからない、そんなバスケットボールチームや、選手を全力でサポートします。バスケの魅力を分かち合いながら、楽しいひと時を過ごしましょう。内容や、レベルなどは応相談。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材・備品:バスケットボールリング、バスケットボール 体育館で実施 | | | | |
| No.25 | タイトル | 運動による科学的な健康づくり 運動生理学の視点からデータを読み解く | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 運動は、スポーツ競技者のものだけではなく、子どもから高齢者まで、また現在健康な状態にある人から病気を持つ人まで、多くの人の健康づくりに貢献します。この講義では科学的データをもとに効果的な健康づくりについて考えます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン、マイク | | | | |

2022年度 びわ学ユースカレッジ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|----------------|-------|---------|
| No.26 | タイトル | ウェイトコントロールの科学 | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 講義型 (一部体験型) | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 適切な体型を維持することは健康維持に貢献しますが、情報化の進んだ現代社会においては誤った情報が蔓延しています。本講義では運動による脂質燃焼や食事による減量について科学的に学び、実際の減量計画を体験していただきます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材: PC、スクリーン、マイク | | | | |
| No.27 | タイトル | 地域とスポーツ スポーツを通じた地域のコミュニケーションの拠点 | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 講義型 | 20人 | ○ |
| | 授業内容 | 日常の生活圏内、生活時間に自然に集える場をどのように仕掛けていくか。住民ならではの視点からスポーツで繋がるまちづくりを考えていく時間にします。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.28 | タイトル | 初心者を対象にした空手教室 | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 健康のために体を動かしたい、また、空手の技術を学んでみたいという方を対象に、空手体験教室を開催します。空手を体験してみたいという意欲さえあれば、小学生からお年寄りまで、男女問わず、どなたでも参加できます。興味のある方、お待ちしております。 | | | | |
| | 備考 | 体育館、もしくは屋内の教室等で実施 | | | | |
| No.29 | タイトル | 運動が苦手な小学生の運動教室 | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 体験型 | 20人 | × |
| | 授業内容 | 体育の授業で、ボール運動が苦手、鉄棒やマット運動が苦手という小学生を対象に体を動かすことの楽しさや、何かが出来るようになる楽しさを感じてもらうための運動教室です。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品: ソフトバレーボール、跳び箱、マット、鉄棒 体育館で実施 | | | | |
| No.30 | タイトル | スポーツ・パフォーマンスの向上に役立つストレッチ | 分野 | 形式 | 最大人数 | プロジェクター |
| | | | B | 体験型 | 10人程度 | ○ |
| | 授業内容 | スポーツでは準備体操の一環でよく行われるストレッチ(柔軟体操)。スポーツにおけるパフォーマンス向上とストレッチの関係を解説しながら、その理論と実践を学びます。 | | | | |
| | 備考 | 体育館など床に座って実施します。そのため、マット等が必要です。 | | | | |

2022年度 びわ学ユークレジット(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.31 | タイトル | なぜスポーツ・運動が子どもの成長に欠かせないのか ～スポーツ科学の知見から～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | コロナ禍における子どもたちの体力の低下や2極化だけでなく、スポーツの世界では早期専門化が心配されています。子どもたちを取り巻くスポーツや運動の状況だけでなく、成長にどのような影響を与えるのかを、子育ての視点から解説します。 | B | 講義型 | 20人 | ○ |
| | 備考 | | | | | |
| No.32 | タイトル | スポーツ選手に学ぶ「こころの整え方」 ストレスマネジメントの方法 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | ストレスマネジメントの方法をお伝えします。 | BG | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン | | | | |
| No.33 | タイトル | スポーツ選手に学ぶ「こころの整え方」 実力発揮の方法 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 実力発揮の方法をお伝えします。 | BG | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン | | | | |
| No.34 | タイトル | 防災とスポーツ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | スポーツをすること(体力)、スポーツをする場(地域の避難場所)は、災害時に重要な役割を果たします。災害対策のための防災ではなく、スポーツを楽しむことで防災につながるまちづくりを一緒に考えませんか。 | BH | 講義型 | 20人 | ○ |
| | 備考 | | | | | |
| No.35 | タイトル | コミュニケーションゲームを通じて対人援助のセンスを学ぶ。 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 対人援助で必要な、みる、きく、伝えるについて簡単なゲームをしながら学んでいきます。 | C | 体験型 | 16人 | × |
| | 備考 | 座ったり立ったりと体を動かすため、椅子で広めの円をつくることのできる環境。 使用備品:椅子 | | | | |

2022年度 びわ学ユークレジット(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-------------|----------|-------------|
| No.36 | タイトル | 知的障害や発達障害のある人への読書支援 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 講義型 | 30人 | ○ |
| | 授業内容 | 読むことが苦手な知的障害や発達障害の人が読書を楽しむ必要な情報を得るためのわかりやすい本やマルチメディアDAISY図書を紹介し、公共図書館が行っている知的障害者への障害者サービスの取り組みについてお話しします。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.37 | タイトル | わかりやすい情報提供 リライトや読み聞かせの実習を通して | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型・ 講義型 | 20人 | ○ |
| | 授業内容 | 知的障害や発達障害のある人たちにコロナ感染、災害、法律の情報など生活に必要なことをわかりやすく届けるためのリライトや読み聞かせの方法を実習を通して学んでいただきます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.38 | タイトル | 障害者の人権について考える 障害のある人たちの 3. 11(東日本大震災) | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | DVD「命のことづ」を観た後、東日本大震災で被災した障害者の人権や尊厳について学修する | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.39 | タイトル | 介護福祉士の専門性について 介護福祉職のコミュニケーションとは | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 講義型・ その他 | 40人程度 | ○ |
| | 授業内容 | 介護福祉職に代表される福祉専門職がその専門性を磨くために必要なことや受容・共感と言ったコミュニケーション技術の基礎について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.40 | タイトル | 介護過程におけるアセスメント 介護過程の基本的な考え方やアセスメントのポイントについて | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | その他 | 40人程度 | ○ |
| | 授業内容 | 介護過程におけるアセスメントについて基本的なコミュニケーション技術や観察、記録について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-----|----------|-------------|
| No.41 | タイトル | 介護技術の基礎 負担の少ない移乗・移動方法 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型 | 6人 | × |
| | 授業内容 | 介護者の腰に負担の少ない移乗・移動方法について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:ベット・車いす | | | | |
| No.42 | タイトル | 介護技術の基礎 ベッド上でのシーツ交換・寝衣交換 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | C | 体験型 | 6人 | × |
| | 授業内容 | 利用者や介護者にとって、負担の少ない介助方法について学びます。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:ベット、寝衣類一式 びわこ学院大学の介護実習室において実施します。 | | | | |
| No.43 | タイトル | スタンスを取って、歌いましょう。 歌う呼吸の方法を学びましょう | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 30人 | ○ |
| | 授業内容 | 体内で息を入れたときの肺の動きや横隔膜の動きのビデオを見た後、実際に声を出して実践してみよう。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材: DVDプレイヤー、スクリーンもしくはモニター、ピアノ 床に寝ても大丈夫な服装。 | | | | |
| No.44 | タイトル | ～ここにしか咲かない花～ 水彩絵の具や色紙を使って不思議な花を咲かせましょう | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 15人 | × |
| | 授業内容 | ステンシル、紙工作などの技法で「ここにしか咲かない」不思議な花をつくります。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品: 筆洗バケツ 造形室など活動しやすい場所 (水彩絵の具、画用紙、ハサミなど大学から持ち込み) | | | | |
| No.45 | タイトル | <紙工作> 楽しい螺旋(らせん)ロード | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | D | 体験型 | 15人 | × |
| | 授業内容 | カードを開くとグルグルとうねる螺旋ロードを考えます。飛び出すカードっぽく、平面から立体を往還する紙の素材としての面白さを体感しましょう。簡単そうで案外頭の体操になります。 | | | | |
| | 備考 | 造形室など活動しやすい場所 (はさみ、デザインナイフ、のりなど大学から持ち込み) | | | | |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-------------|---------------|-------------|
| No.46 | タイトル | 和歌でつながる —本居宣長を事例として— | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | E | 講義型 | 5人以上50 人まで | ○ |
| | 授業内容 | 江戸中期、三重松坂で医者としての仕事をする一方で30余年にわたり『古事記』を研究した本居宣長の和歌とのかかわりについて講義する。彼は18歳から和歌を詠み始め、生涯にわたり約1万首を詠んだ。また松坂で周辺の人々と歌会を頻繁に開いていた。彼がなぜそれほどまでに和歌にこだわったかを中心に、人間関係が希薄になっている現代において、地域で人と繋がる意味を考えたい。(60分程度) | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン | | | | |
| No.47 | タイトル | 日本の都城の歴史 近江大津宮と紫香楽宮の再評価 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | E | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 邪馬台国をヤマト王権の祖と見た場合、その後の藤原京に始まる日本の都城の歴史を、どのように評価できるか。特に近江大津宮と紫香楽宮を都城と評価できるのかについて、都市史の観点から説明する。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:マイク(PCは持参します。) 大津京の存在を主張する方には不向きな内容。 | | | | |
| No.48 | タイトル | 近江の街道宿場と町家の特徴 京町家を上回る防火性能の形成 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | EH | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 江戸時代の街道沿いに形成された宿場において、建築された町家の特徴を紹介する。いわゆる京町家と異なる点に注目し、京町家を上回る防火性能をもつ姿が生まれた社会背景を説明することで、滋賀県に関する新しい知見を提供する。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:マイク(PCは持参します。) 彦根・五個荘・近江八幡の町なみ見学とセットでも可能。 | | | | |
| No.49 | タイトル | 簡単なお知らせ文をパソコンで作ろう! | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | F | 体験型 | 3~8人 | ○ |
| | 授業内容 | 日本語ワープロ検定試験の”文書作成”の体裁を用いて、簡単なお知らせ文などをWordで作ります。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン 簡単なローマ字入力ができることが望ましい。 | | | | |
| No.50 | タイトル | 自身のこころのケアを考える 臨床心理学を体験しよう | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型・ 体験型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 臨床心理学と呼ばれる心の問題に関連した専門分野があります。ストレスの多い世の中で生きていくために、そのストレスとの付き合い方や減らし方について考え、そのための方法を体験する。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

2022年度 びわ学ユークレージ(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|---|----|-------------|----------|-------------|
| No.51 | タイトル | 簡単ストレッチと自体重のトレーニング 運動不足解消でストレス解消！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 体験型 | 指定なし | × |
| | 授業内容 | 一人で行える簡単なストレッチと、トレーニング方法を学びます。健康づくりのための運動を学び、運動不足とストレスを解消しましょう。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品:ヨガマット等 運動が出来るスペース 及び フロア(体育館・ヨガマット等) | | | | |
| No.52 | タイトル | 女性の健康と骨盤底筋力 骨盤底筋ケアで骨盤内臓器下垂や尿失禁予防！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 体験型・ 講義型 | 10~15人 | ○ |
| | 授業内容 | 女性の4人に1人が尿もれを経験します。理由の1つとして骨盤底筋力の低下があります。どのようにケアすると良いのかを講義と体験学習でお伝えします。 | | | | |
| | 備考 | 使用備品:電気回路:コンセント口(測定機器を使用) PC、プロジェクターは無い場合は持参します。 | | | | |
| No.53 | タイトル | 親子で考えよう多様な性の理解 (包括的性教育) | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | 子どもと性について話しにくいと考える親は8割以上に上ります。性は心が生きるという意味で考えると子どもにとっては大切な話しです。親子でもしくは保護者様に知って欲しい時代のトピックスをお伝えいたします。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC | | | | |
| No.54 | タイトル | 高齢者に多い病気とその対策 まだまだこれから！ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 相談 | ○ |
| | 授業内容 | 高齢者に多くみられる病気と対策、くすりへの注意など。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン、拡声器 使用備品:配布紙資料あり | | | | |
| No.55 | タイトル | メンタル不調への対応 こころの病気への気づきと対応 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | | | G | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 授業内容 | メンタル不調への気づきと対応について。 | | | | |
| | 備考 | 使用機材:PC、スクリーン、拡声器 使用備品:配布紙資料あり | | | | |

2022年度 びわ学ユークレジット(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|-----|----------|-------------|
| No.56 | タイトル | 地域における自然災害への取り組み いまの備えは、それで十分ですか？ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 過去の自然災害を例に、いま地域のなかでどのような防災上の「備え」が必要なのか、について話を する。 | H | 講義型 | 指定なし | × |
| | 備考 | | | | | |
| No.57 | タイトル | 国際比較から考える教育政策 ～初等中等教育を中心とした近年の動向～ | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | この授業では、変化の激しい最近の教育政策を簡単に解説したうえで、国際比較の調査結果をもとに日 本の教育を概観し、今後の日本の教育のあり方を考えていきます。 | I | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 備考 | 使用機材：PC、スクリーン(PC持参します。) | | | | |
| No.58 | タイトル | クレームや苦情への対応 カスタマー・ハラスメントを含め | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | カスタマー・ハラスメントを含め、ストレスが多い昨今、いかにクレームや苦情を少なくし、また発生した場 合であってもどう対処すべきか、について話をする。 | I | 講義型 | 指定なし | × |
| | 備考 | | | | | |
| No.59 | タイトル | 絵本の世界を楽しもう 絵本から見える子どもの世界 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 様々な絵本が出版されているが、絵本は子どものためだけでなく大人も十分楽しめる。 本時は絵本からみえる「子どもの心・成長」を考察していく。 また、参加者が絵本を持ち寄ることで、楽しみ方の幅を広げる。 | I | 体験型 | 20人 | ○ |
| | 備考 | 使用機材：書画カメラ | | | | |
| No.60 | タイトル | 絵本から読み解く異文化理解 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 文化、価値、信条の異なる人々が社会で共に暮らすためにはどのような視点が必要なのか。この授業で は絵本作家ショーン・タンの作品に着目して、独特な世界観に見る他者理解の視点を考えます。 | I | 講義型 | 指定なし | ○ |
| | 備考 | 使用機材：スクリーン、DVDプレーヤー (PC持参します。) | | | | |

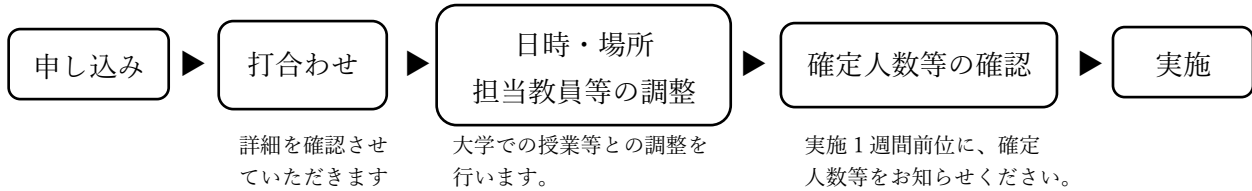
2022年度 びわ学ユークレジット(地域出前授業)メニュー

| | | | | | | |
|-------|------|--|----|----|----------|-------------|
| No.61 | タイトル | グローバル化の中の異文化理解 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 文化相対主義の視点で事例を取り上げながら異文化理解の重要性について考える。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.62 | タイトル | 近江鉄道の活用による地域活性化 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 近江鉄道の現状を踏まえた上で、学生と市民の活動の事例を紹介し、市民主体の地域活性化と「鉄学連携」の可能性について探る。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.63 | タイトル | 近江における「聖徳太子」信仰 『聖徳太子伝暦』を中心に | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 『万葉集』中にもよく歌の舞台となった近江国。 聖徳太子にちなむ寺院や神社も少なくありません。 それらの記事のベースにあるのが平安時代成立の『聖徳太子伝暦』です。 この本からさまざまな太子の奇瑞を追っていきましょう。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |
| No.64 | タイトル | 教職入門の入門 | 分野 | 形式 | 最大 人数 | プロジェ クター |
| | 授業内容 | 学校の先生(教職)とはどんな仕事なのか、学校の先生になるためには何が必要なのかをみなさんと一緒に考えます。 | | | | |
| | 備考 | | | | | |

●授業の専門分野

| | | |
|--------------|---------|-----------|
| A 教育・子育て | B スポーツ | C 人権・福祉 |
| D 芸術・音楽 | E 文化・歴史 | F 情報技術・科学 |
| G 健康・ライフスタイル | H 環境・防災 | I その他 |

●申し込み～実施までの流れ



●申し込み方法

別紙「申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAX あるいは E-mail にて「びわこ学院大学地域・産学連携研究支援課」までお申し込みください。

出前授業申込書

申込用紙: FAX-0748-23-7202

連絡先: 氏名, 所属, 電話番号, E-mail

| 希望授業 | 第1希望 | 希望地 | 希望者人数 |
|------|------|-----|-------|
| | | | |
| | | | |

希望開催日: 第1希望, 第2希望

受講者数: 学年・学期

実施場所

ご意見欄

びわこ学院大学 びわこ学院大学短期大学部 地域・産学連携研究支援課
TEL: 0748-35-0005 (直通) 0748-22-3388 (大学代表) FAX: 0748-23-7202 E-mail: ex-link@newton.ac.jp

※連絡先

E-mail もお願いします。

※希望授業

できるだけ、第2 希望までご記入ください。

※希望開催日

できるだけ、第2 希望までご記入ください。

※受講者数

申し込み時点でののおおよその人数で結構です。

※連絡欄

ご意見・ご要望等をご記入ください。

●お問い合わせ先

びわこ学院大学 地域・産学連携研究支援課

【TEL】 0748-35-0005 (直通) 0748-22-3388 (大学代表)

【FAX】 0748-23-7202 【E-mail】 ex-link@newton.ac.jp

出前授業申込書

申込日： 年 月 日

FAX:0748-23-7202

| | |
|--------|---|
| 団体名 | |
| 部署名 | |
| ご担当者 | |
| ご住所 | 〒 |
| TEL | |
| FAX | |
| E-mail | |

| | | | |
|--------|--------------|------------------------------|--------|
| 希望授業名 | 第1希望 | 授業 No. | 授業タイトル |
| | 第2希望 | 授業 No. | 授業タイトル |
| 希望開催日時 | 第1希望 | 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間) | |
| | 第2希望 | 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間) | |
| 受講者数 | 予定 ・ 確定 名 | | |
| 実施場所 | | | |

ご連絡欄

お問い合わせ
お申し込み先



びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部

地域・産学連携研究支援課

〒527-8533 滋賀県東近江市布施町 29

TEL:0748-35-0005(直通) 0748-22-3388(代表) FAX:0748-23-7202

E-mail:ex-link@newton.ac.jp